

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	緑化地区等への生垣等設置費補助金 民有地における緑化ルール（緑地協定）を策定したエリアの土地所有者等に対し、生垣等の設置工事費の一部を補助する。補助額は設置費用（ブロック塀の撤去を含む）に対し、2分の1を補助し、上限額50,000円を限度とする。令和元年度末で協定対象地区は5地区。協定期限は令和8年度まで。						
款・項・目	土木費・公園緑地費・緑化推進費						
所属等	土木部 公園水辺課 企画係			電話025-226-3065（内線 33066）			

年 度		平成30年度（1年目）	令和元年度（2年目）	令和2年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	800	550	150
	決算(千円)	0	0	0
補 助 率		1/2	1/2	1/2
目 標		まちなかの緑を創出するとともに、みどりによる生活空間づくりを推進する。 <目標が数値でない場合の評価方法> 着工前・完了後の写真及び現地確認により、周辺の緑化が進んだことを確認する。		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	補助金の申請が無く、着工前・完了後の写真及び現地確認による周辺の緑化が進んだことを確認できなかった。	補助金の申請が無く、着工前・完了後の写真及び現地確認による周辺の緑化が進んだことを確認できなかった。	補助金の申請が無く、着工前・完了後の写真及び現地確認による周辺の緑化が進んだことを確認できなかった。
補助事業者による情報の公表		補助事業者が個人であるため、情報の公表は行わない。		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	×
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> f. 補助事業者が主として個人であり、また付属する看板等も存在しないため、現地において情報公開することも難しく、やむを得ないものとする。				
	<g～hにおける取組> g. 近年の住宅事情から、助成対象となる前面道路沿いを駐車場スペースとして整備するケースが多いことが想定され、生垣設置延長の伸びが期待できないため、数値目標は設定しない。				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> ・補助対象となる緑地協定地区の5地区における申請が無かったため。				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること ・補助対象となる緑地協定地区の協定期間が令和8年度までであり、地区内の緑化の推進のために継続が必要である。 ・市民生活における緑化意識の向上が必要とされる中、当該制度により生垣設置を奨励することは、緑のまち並みづくりを推進するとともに、地震等によるブロック塀の倒壊による被害を未然に防止し、安全な暮らしの確保に資する。制度改正後、申請件数が伸び悩んでいる状況ではあるが、PRの手法を再検討し、より効果的に制度の周知					